

2. 2 津波シミュレーションの計算条件について

元禄型関東地震 (M8.2) について、以下の計算条件で津波数値シミュレーションを実施した。なお、津波高の計算結果は T.P.表示とする。

使用した津波断層モデル (波源モデル)

- ・元禄型関東地震 行谷ほか (2011) モデル 一様すべりモデル+房総沖小断層 11

計算条件

- ・メッシュサイズ : 10m (主要な島の沿岸) ~30m~90m~270m~810m (外洋)
- ・運動方程式 : 非線形長波式 (浅水理論式)
- ・再現時間 : 12 時間
- ・初期水位分布 : 断層モデルから鉛直地殻変動量分布を計算し、時間差無しで全メッシュに鉛直地殻変動量を初期水位として付与。
- ・破堤条件 : 越流した際に破堤する。
- ・潮位 : 各島の朔望平均満潮位 (High Water Level : H.W.L.) を初期潮位とする。各島の初期潮位 (DL 基準) を T.P.に換算した値は以下のとおり。

| | |
|--------|-----------------------|
| 大島 | DL+1.5m (T.P.+0.6m) |
| 利島 | DL+1.6m (T.P.+0.63m) |
| 新島、式根島 | DL+1.7m (T.P.+0.73m) |
| 神津島 | DL+1.96m (T.P.+0.99m) |
| 三宅島 | DL+1.7m (T.P.+0.62m) |
| 御蔵島 | DL+1.5m (T.P.+0.58m) |
| 八丈島 | DL+1.7m (T.P.+0.75m) |
| 青ヶ島 | DL+1.7m (T.P.+0.83m) |
| 父島、母島 | DL+1.1m (T.P.+0.4m) |